

議題（1）

令和6年度活動報告について

1 会員への情報提供及び情報交換

（1）方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

（2）具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催）

- 日 時：令和6年6月18日（火）13:00～13:30
- 会 場：ペリエホール
- 内 容：令和5年度事業報告、令和6年度事業方針（案）について

イ 事例報告会

- 日 時：令和6年6月18日（火）13:30～16:30
- 会 場：ペリエホール
- 参加者：65名
- テーマ：環境DNA分析技術を利用した生物調査～原理・現状・展望～
- 内 容：
 - ・環境DNAメタバーコーディング法：バケツ一杯の水から棲んでいる魚がわかる技術
（千葉県立中央博物館 主任上席研究員 宮正樹氏）
 - ・環境DNAを利用した生物観測ネットワーク ANEMONE について
（（公財）かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 遺伝子構造解析グループ 研究員 山川央氏）
 - ・地域住民と連携した環境DNA技術の活用事例について
（神奈川県環境科学センター 調査研究部 主任研究員 長谷部勇太氏）
 - ・実務の現場で環境DNAを使うために必要なこと
（国立研究開発法人 土木研究所 特任研究員 村岡敬子氏）

ウ 企画運営会議

日 時：令和7年3月18日（火）14:00～16:00

開催方法：現地

会 場：ペリエホール

内 容：

- ・令和6年度活動報告、令和7年度活動方針（案）について
- ・Greater Tokyo Biocommunity（GTB）について
- ・意見交換
- ・その他（情報提供など）

エ セミナー

日 時：令和7年1月10日（金）13:30～17:00

開催方法：現地

会 場：ホテルグリーンタワー幕張

参加者：48名

テ ー マ：千葉発のがん対策の創出への展開

内 容：

- ・がん蓄積するエピゲノム異常の網羅的な解明と医療産業への応用
（千葉大学大学院医学研究院 分子腫瘍学 教授 金田篤志 氏）
- ・脂肪酸代謝-免疫システムを標的とした抗腫瘍戦略の構築
（かずさDNA研究所 オミックス医科学研究室 室長 遠藤裕介 氏）
- ・ヒト特異的遺伝子NCYMを標的としたがん治療薬開発
（千葉県がんセンター研究所 所長 筆宝義隆 氏）
- ・重粒子線がん治療の開発研究とその普及
（QST病院 病院長 石川仁 氏）
- ・交流会

オ Greater Tokyo Biocommunity（GTB）

GTBのバイオイノベーション推進拠点である「千葉・かずさエリア」の窓口機関として、実務者会議及び総会に出席し、情報収集及びエリア内の取組の情報発信を行った。

(7) 第6回実務者会議

日 時：令和6年7月17日（水）15:15～17:00

会 場：アステラス製薬 つくば研究センター（オンライン併用）

(イ) 第7回総会

日 時：令和6年9月2日（月）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京（オンライン併用）

(ウ) 第7回実務者会議

日 時：令和7年1月29日（水）15:00～17:00

会 場：中外ライフサイエンスパーク横浜（オンライン併用）

(I) 第8回総会

日 時：令和7年3月6日（木）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京（オンライン併用）

カ 外部ネットワーク等との連携の強化

その他、バイオ産業支援機関ネットワーク会議（事務局：（公財）木原記念横浜生命科学振興財団）等に参画し、バイオエコノミー社会の実現に向けた基盤戦略である「バイオエコノミー戦略」や関係省庁の施策、各支援機関による支援事例等に関する情報収集及び情報交換を行った。

キ その他

(ア) 会員相互の情報交換の促進

本会議のメーリングリストやホームページを活用して、会員の主催するイベント等の情報発信を行った。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

(2) 具体的な取組

ア セミナーの開催

千葉大学、かずさDNA研究所、千葉県がんセンター、量子科学技術研究開発機構と連携し、「千葉発のがん対策の創出への展開」をテーマに、がん領域に係る講義と交流会を行った。

イ バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

かずさDNA研究所の概要（成果・県事業との連携・理科教育）や、NITEの組織・業務概要、バイオによるものづくりに関する情報提供をいただき、また、県庁内関係課と未利用資源の活用と県との連携について取組について情報交換を行った。

日 時：令和7年2月27日（木）13:30～15:00

開催方法：オンライン（Zoom ミーティング）

内 容：

- ・かずさDNA研究所の概要（成果・県事業との連携・理科教育）
（かずさDNA研究所 広報・教育支援G グループ長 平岡 桐子 氏）
- ・未利用資源の活用と県との連携に向けて
（NITE バイオテクノロジーセンター 参事官 木下 浩 氏）

令和7年度活動方針（案）について

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の機会を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催）

時 期：令和7年6月18日（水）

方 法：ペリエホール

内 容：令和6年度事業報告、令和7年度事業方針（案）

イ 事例報告会（総会と同時開催）

時 期：令和7年6月18日（水）

方 法：ペリエホール

テーマ：蛋白質大規模分析の最先端技術とその社会実装に向けて

ウ 企画運営会議

時 期：令和8年3月

方 法：未定

エ セミナー

時 期：令和7年度に2回程度開催予定

方 法：検討中

テーマ：検討中

オ GTB協議会

(ア) 第8回実務者会議

時 期：令和7年7月8日（火）15:45～17:30

会 場：三井リンクラボ新木場2（オンライン併用）

(イ) 第9回総会

時 期：令和7年9月8日（月）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京（オンライン併用）

(ウ) 第9回実務者会議

時 期：令和8年1月頃

会 場：未定

(I) 第10回総会

時 期：令和8年3月頃

会 場：未定

カ ネットワーク形成及び情報交換

企業や研究機関等がニーズ発信やマッチング、情報交換等、双方向の交流をできる機会を設け、ネットワーク形成を促進するとともに、外部ネットワーク等との連携を強化する。

また、GTB協議会の取組や情報を活用し、バイオエコノミー戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の機会を設ける。

(2) 具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの機会を設ける。
- バイオエコノミー戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の機会を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換や勉強会等の機会を設ける。

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議の概要

1 設置の趣旨・目的

健康・医療・環境・食糧等、人々の生活に関係の深い課題の解決に大きな貢献が期待され、産業としての高い将来性が見込まれるバイオ・ライフサイエンス分野の研究開発、産業振興を図るため、全県的な産学官連携組織「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」を平成15年2月に設置した（当初会員数118）。

2 ネットワーク会議の活動内容

- ①会員相互の情報提供・情報交換
- ②全県的な産学官連携の促進
- ③共同研究プロジェクトの創出・展開
- ④広域的なネットワーク形成

3 ネットワーク会議の組織（R7.4.1時点）

(1) 会長等

特別顧問	千葉大学	学 長	横手幸太郎
会 長	(公財)かずさDNA研究所	理 事 長	大石 道夫
副 会 長	東京大学	特命教授	三谷 啓志
副 会 長	(一社)千葉県商工会議所連合会	会 長	佐久間英利

(2) 企画運営会議

(3) 事務局 千葉県商工労働部産業振興課、(公財)かずさDNA研究所

(4) 会員数 152

(5) 会員内訳

大学等 (13) : 千葉大学、東京大学、千葉工業大学、東京理科大学等

公的研究機関 (15) : 国立研究開発法人量子科学研究開発機構放射線医学総合研究所、千葉県がんセンター、千葉県産業支援技術研究所、千葉県農林総合研究センター、かずさDNA研究所等

経済団体等 (9) : 千葉県商工会議所連合会、千葉県経営者協会、千葉県商工会連合会、千葉県経済同友会、千葉県中小企業団体中央会等

バイオ関係業界団体 (2) : バイオインダストリー協会、NPO 日本バイオベンチャー推進協会

自治体等 (11) : 千葉市、木更津市、柏市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、千葉県産業振興センター、千葉市産業振興財団、千葉大亥鼻イノベーションプラザ、日本貿易振興機構千葉貿易情報センター、千葉県

企業等 (91)

金融・監査法人等 (11)

4 近年の活動状況

実施年月	内 容
平成 15 年 2 月	千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議設置
平成 24 年 4 月	かずさ DNA 研究所が共同事務局として参画
令和元年 6 月	令和元年度総会 事例報告会：食品・医療・農業分野における最近の動向
8 月	セミナー：かずさ DNA 研究所視察・知財セミナー@かずさ
11 月	セミナー：バイオプロセスが変えるものづくり ～持続可能な循環型社会を目指して～
令和 2 年 2 月	セミナー：バイオ戦略 2019 と R2 経済産業省関連予算案のポイント ～世界最先端のバイオエコノミー社会の実現を目指す戦略を読み解く～
3 月	企画運営会議
8 月	令和 2 年度総会
令和 3 年 1 月	オープンイノベーション交流会 in CHIBA～最先端バイオ技術の活用～
3 月	企画運営会議
6 月	第 1 回企画運営会議 令和 3 年度総会 事例報告会：脂質を見る・知る・考える～最新のリポドミクス解析技術から医学研究まで～
令和 4 年 3 月	第 2 回企画運営会議
6 月	令和 4 年度総会 事例報告会：作物のゲノム編集育種の現状と展望
令和 5 年 3 月	企画運営会議
6 月	令和 5 年度総会 事例報告会：有用藻類の高度利用による物質生産の仕組みづくり
9 月	セミナー：量子生命科学セミナー ～量子技術に基づく生命現象の解明と医学への展開～
令和 6 年 3 月	企画運営会議
6 月	令和 6 年度総会 事例報告会：環境 DNA 分析技術を利用した生物調査～原理・現状・展望～
令和 7 年 1 月	セミナー：がん領域セミナー ～ 千葉発のがん対策の創出への展開 ～
令和 7 年 3 月	企画運営会議

千葉県のバイオ・ライフサイエンス分野の振興体制

バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議

■目的

各部局が連携してバイオ・ライフサイエンス分野における研究成果の活用をはじめ各種施策の展開を図り、県民生活の質の向上と県内産業振興を図る。

■検討事項

バイオ・ライフサイエンス分野に関する情報共有の推進、共同プロジェクトの創出、実用化・事業化支援

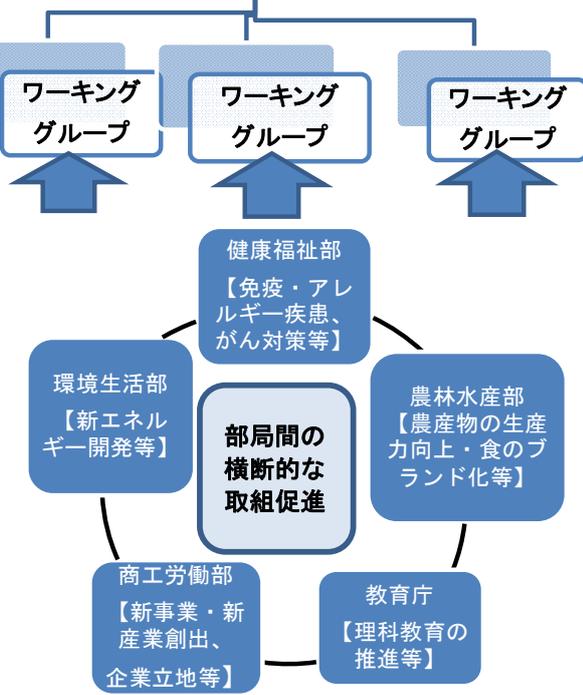
■議長、構成課

- ・議長 商工労働部産業振興課長
- ・構成課 総合企画部・健康福祉部・環境生活部・商工労働部・農林水産部・病院局・教育庁の主務課

■事務局

産業振興課

バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議



バイオ・ライフサイエンスネットワーク会議 (バイオ・ライフサイエンス分野の全県的な産学官連携組織)

■目的

バイオ・ライフサイエンス分野の新たな産業や事業の創出による千葉県経済の発展

■活動内容

バイオ・ライフサイエンス分野の情報提供、情報交換・産学官連携促進、産学官共同プロジェクト創出・展開

■会長

かずさDNA研究所 理事長

■会員

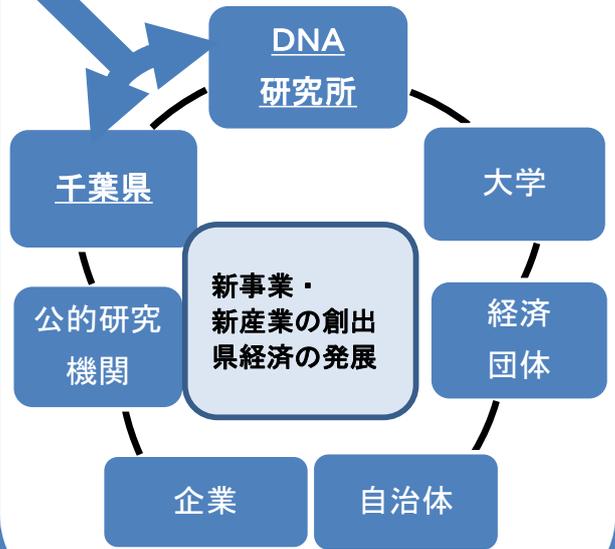
約150の企業・大学・研究機関等

■事務局

かずさDNA研究所
産業振興課

総会

企画運営会議



「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」会則

(目的)

第1条 21世紀において飛躍的な成長が見込まれるバイオ・ライフサイエンス関連分野における新たな産業や事業の創出等を通じて、千葉県経済の一層の発展を図るため、大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等の連携による「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」という。）を設置する。

(活動内容)

第2条 ネットワーク会議は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) バイオ・ライフサイエンス関連産業に係る情報提供・情報交換
- (2) バイオ・ライフサイエンス関係の産学官の連携の促進
- (3) バイオ・ライフサイエンス関係プロジェクトの創出・共同展開
- (4) 東京圏ゲノム科学国際拠点形成における各拠点との連携
- (5) その他ネットワーク会議の目的に沿う各種活動

(会員)

第3条 会員は、ネットワーク会議の目的に賛同する大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等で構成する。

- 2 ネットワーク会議の会員の入退会は、第9条に定める事務局に届け出て行うものとする。

(会長及び副会長)

第4条 ネットワーク会議に、会長1名、副会長2名を置く。

- 2 会長は、公益財団法人かずさDNA研究所の役職員のうち、千葉県知事が指名する者をもって充てる。
- 3 副会長は、会長が指名する者とする。
- 4 会長は、ネットワーク会議を代表し会務を総括する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、副会長が代行する。

(特別顧問)

第5条 ネットワーク会議に、特別顧問を置く。

- 2 特別顧問は、千葉大学学長及び会長が指名する者をもって充てる。
- 3 特別顧問は、ネットワーク会議の運営に資する助言等を行うものとする。

(総会)

第6条 総会においては、次の事項について協議するものとする。

- (1) ネットワーク会議の活動方針及び活動報告
- (2) その他ネットワーク会議に係る重要事項に関すること

(企画運営会議)

第7条 ネットワーク会議に、会議の企画及び運営を行う組織として、企画運営会議を設置する。

- 2 企画運営会議は、大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等の委員から構成し、その委員は会長が指名するものとする。
- 3 企画運営会議に座長1名を置く。
- 4 座長は、企画運営会議の委員の互選による。
- 5 座長は、企画運営会議の会務を総括する。
- 6 座長は必要と認める者を、企画運営会議に出席させることができる。

(研究部会)

第8条 ネットワーク会議は、必要に応じて、共同研究・共同開発等のための研究部会を置くことができる。

- 2 研究部会の運営に関する規定は、企画運営会議の了承を得て別に定める。

(事務局)

第9条 ネットワーク会議の事務局を千葉県商工労働部産業振興課及び公益財団法人かずさDNA研究所に置く。

(会費)

第10条 ネットワーク会議の会費は無料とする。

(会則の変更)

第11条 この会則を変更しようとする場合は、あらかじめ企画運営会議委員の意見を聴くものとする。

(その他)

第12条 この会則に定めるものの他、ネットワーク会議の運営に必要な事項は、会長が定めるものとする。

附 則

本会則は、平成15年2月6日から実施している千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議規約をもとに平成24年4月1日から実施する。